

入場  
無料

西川材の

# 木のジヤングルジムを くもんだい



第2回 2026.2.8(日) 10-15時

**会場：飯能市林業センター**  
飯能市阿須343-1（駐車場は旧飯能南高校の校庭）

くもんだいは、大阪・関西万博の大屋根リングや清水寺の舞台と同じつくりです。子ども達で柱と貫を組みあげ、上棟したら遊び、その後解体し片付ける。子どもから大人まで、無垢の木の良さを楽しく体験できるイベントです。

**1****ジャングルジムを組んで遊ぼう**未就学児※～小学生対象  
参加申し込み順

服装は、ズボンに身軽な普段着で来てね。安全帽など道具は貸出します。

**2****木工教室コーナー**未就学児※～小学生対象  
参加申し込み順

小枝や端材を使い、自分だけの木工作品の挑戦に、地元の木工家がお手伝いします。作品の写真を写そう！

**3****交流広場 一本の木から「普段着の木の家」をつくろう**

伐採された一本の木が「工業製品」または「無垢の木」として加工されていく流れを通じ、木に対する扱いを考える展示を行っています。交流広場は、実際に木材に接する山・製材・施工・設計のプロが、西川材を使ったこれからの住まいづくりについて考える場です。

**4****マルシェ 地元の野菜と弁当**

1階と駐車場で地元の野菜と弁当の販売。安全な「農と食をつなぐ」取組みの一つです。



※未就学児は保護者の付き添いをお願いします。

お問い合わせ

**地産地生の会** (事務局：飯能市飯能 291)  
090-4924-6267 (山口) somusya@hanno.jp  
090-3080-4183 (吉野)



X (@chisyo291)



Instagram @chisyo291



Facebook @chisyo291

共催／西川広域森林組合・地産地生の会

協力／飯能型気候風土適応住宅推進協議会 後援／飯能市

# 衣食住+遊をつなぐ

# 地産地生の会



地産地生の会は『地域の資源を使い、地域で生きる』を信念として、“衣食住+遊”に興味を持つ仲間と共に、2023年から本格的に活動を開始しました。大学生から社会人、シニア世代まで、活動に賛同する様々な人が集っています。建築士、営業マン、プログラマー、アーティストなど、肩書きはばらばらですが、皆「地域のために何ができるか」を真剣に考えています。

私たちのプロジェクトは、「自然と人をつなぐ」「山と家をつなぐ」「農と食をつなぐ」の3つの大きなテーマに基づいています。①自然がある ②歴史・風土がある ③安心・安全がある ④コミュニティがある ⑤美しさがある…この5つの項目を大切にプロジェクトを実践していきます。



## 自然と人をつなぐ

エルフの森（メッツァ）では毎年展示イベントに参加。飯能市による木育イベント事業参加や、100年後の森づくりを構想する美杉の森プロジェクトなど多数進行中。



## 山と家をつなぐ

飯能型気候風土適応住宅プロジェクトの他、くむんだー、空き家、薪づくり、古民家再生、木世界（着せかい）運動など、「無垢の木」を暮らしの中に生かす活動が進行中。



## 農と食をつなぐ

地場野菜やお弁当などを扱うマルシェ企画、自然栽培、耕作放棄地などのプロジェクト化を検討中。



活動について

参加者募集中!

毎月定例会（日時は事務局まで）を開催しています。会員でなくても、どなたでも参加可能です。プロジェクトの報告と、参加者の活動報告やその時々の関心テーマで意見交換をしています。

〒357-0063 飯能市飯能 291（創夢）

西武池袋線「飯能」駅から徒歩約 20 分

090-4924-6267（山口）/090-3080-4183（吉野）

somusya@hanno.jp

代表メンバー

代表  
吉野 勲

無垢の木を大切に住宅設計に従事。同じ飯能生まれの造語「地産地生」は15歳!?一昨年仲間と一緒に会に育て、居心地の良い環境を次世代につなぐために活動中。

副代表  
三上 群嗣

1948年生まれ、長崎市出身。吉田屋呉服店床モザイク、飯能市役所第二庁舎床、モザイク（愛知万博出展）をワークショップ形式で監修施工、中央公園トイレ床改修など。

事務局  
山口 真

飯能市生まれ。市内の一般廃棄物収集運搬業の営業職。埼玉県の『地球温暖化防止活動推進員』として活動中。2024年6月から地産地生の会に参加。

